

# あおぞら

発行：愛知県被災者支援センター

住所：名古屋市中区三の丸 3-2-1

愛知県東大手庁舎 1階

TEL：052-954-6722

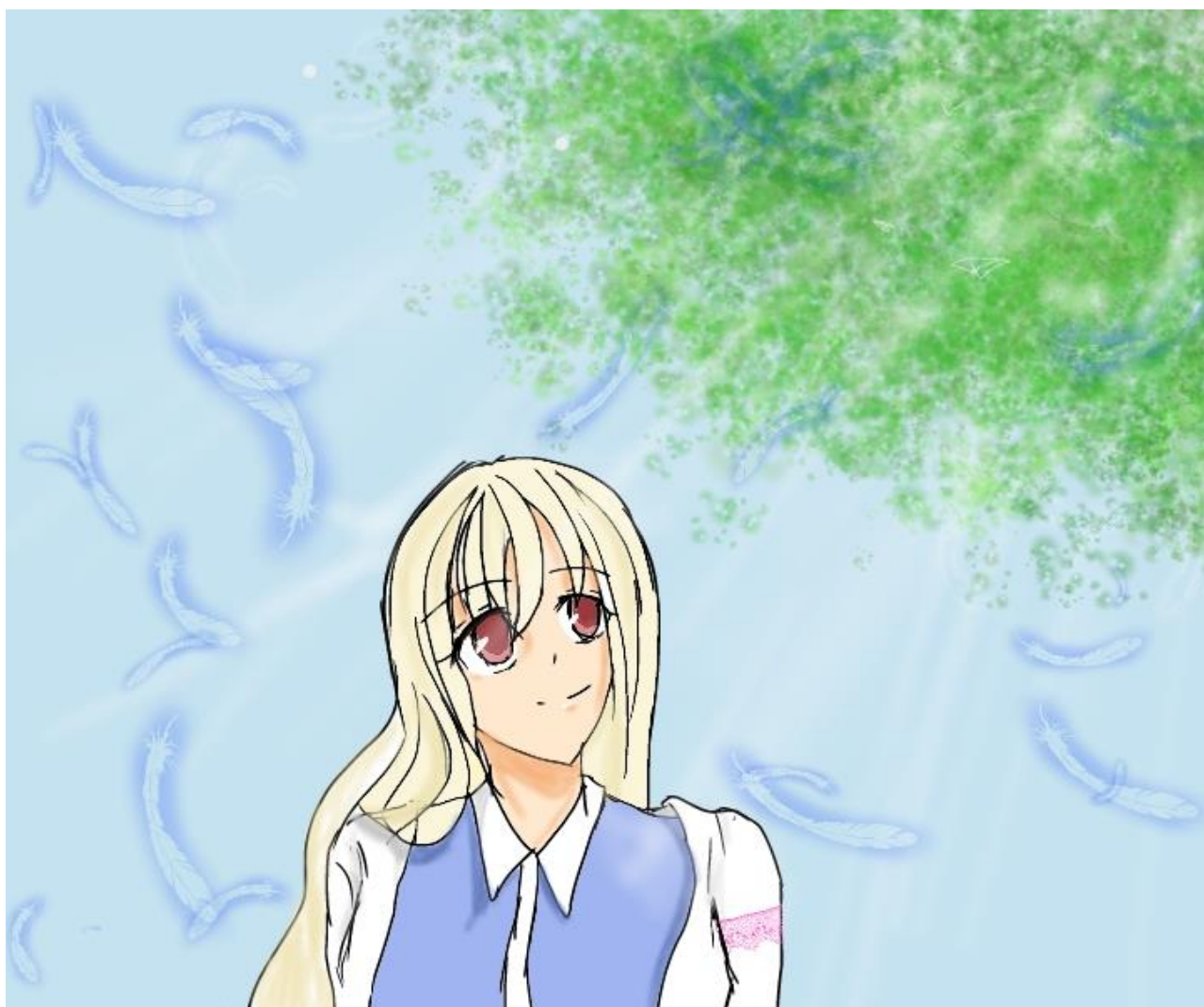
FAX：052-954-6993

開館：月～金 10～17時



## タイトル なついろのこもれび

眩しい太陽の光から逃れ大樹の下から見上げると  
木漏れ日がキラキラしている様子を描きました



(中2 鈴村共笑 さん)

表紙に掲載する子どもの描いた絵を募集しています。詳しくは裏表紙をご覧ください。

## インタビュー③

### 茨城県から愛知県に避難された 吉田 育子さん

吉田さんとの出会いは、愛知県被災者支援センター主催の「囲碁クラブ」です。人並外れた情報量はまさに博学多才な人ですが、とても気さくでお話が楽しいので、毎回あっという間に時間が過ぎてしまいます。以前「あおぞら」の編集委員で、インタビュアーで活躍していました。そんな吉田さんの今の思いをぜひ聞いてみたいと声があがり、避難した当初のことや、気持ちを愛知県被災者支援センターの瀧川さんと一緒にお聞きしました。

#### ◆体調のことを考えて母子避難

吉田さんは震災当時、茨城県のホットスポットに近い場所に住んでいました。化学物質に敏感に反応する体質なため、原発の事故後に外出すると体調が悪くなることが多くなり、実家のある愛知に一時避難しました。

自分だけ避難して、という罪悪感に苦しみ、何度か家族と一緒に暮らせないと茨城に戻って試しましたが、体はそのたびに悲鳴をあげる。その繰り返しで「これでは住めない」と、気持ちに区切りがついて母子避難を決めました。

愛知への避難は決めましたが、自分の体で異変を感じていながら、そのまま何もしないのは子ども達のためにもならないと思い、茨城の周りの保護者、幼稚園や自治体へ放射能汚染への対応を訴えました。症状が出ている子もいるのに危機感が薄い親もいて、やりきれなさを覚えました。それでも、「できることはやった」と納得して避難できたのは、「自分の体調のことがなかったら、茨城で家族と一緒に住む選択をした」という思いもあったから。だから避難できなかった人の気持ちも共感できると言っていました。

#### ◆子ども達を守りたいという思いを行動に

愛知に避難してからも、「子ども達が自分と同じ症状になってはいけない」という一心で、ご自分の体験談を話すことで警鐘を鳴らし続けてきました。反応はさまざま嫌な思いもしたそうです。必死な思いが伝わらない歯がゆさを感じ

ながらも、「それでも話を聞いて、一人でも多くの人が気づいて行動するきっかけになれば」と吉田さん。

「母子避難したくてしてるわけじゃない」「未来のある子どもを少しでも安全な環境で育てたい」多くの人がそう思いながらも、まわりの反応を恐れて声をあげられない中、一步一步行動し、声をあげて思いを伝え続けてきた。だから「やれることはやったと思える」そういう吉田さんに、ただただ頭が下がる思いでいっぱいになりました。

#### ◆広島、長崎の体験談を聞いて欲しい

最後に「とてもデリケートな話だけど、広島、長崎の被ばく者の方々の体験談をぜひ聞いて欲しい。状況は違うけれど、心身のことだけでなく差別や訴訟問題など参考になることがたくさんあるから。広島、長崎の被ばく者には高齢な方が多いので、まさに今、耳をかたむけることが大事」と言っていました。

出会った方にお話を聞いたり、感銘を受けた本の著者と直接会われたお話は、とても興味深く思いました。そんな吉田さんにインタビューをさせていただいて、さらに身近な存在になり、私にも「自分にしかできないことがある」と勇気をいただきました。これからも吉田さんから刺激を受けながら、コツコツと自分のできることをやっていこうと思います。

(あおぞら編集委員 山本由香)



## リレートーク



震災から3年が過ぎ、愛知県に避難している方たちは今、どんなことを感じ、何を考え、何をしているのでしょうか。共感や新たな気づき、次につながる何かを見つけるきっかけになって欲しいという思いで、同じ愛知県に避難している方の今をリレー形式で紹介していきます。

### 少しずつ、少しずつ。

震災から3年4ヶ月が過ぎて、自分のことを振り返ってみる。

震災があるまでは、子育てをしながらも自分の夢を追いかけていた。放射能と言う目に見えない、健康に影響のあるかもしれないものが降り掛かって、価値観がひっくり返った。それまでは、歌うことを仕事にして、きらびやかな世界が心地よかった。人並みに物欲もあったし、自分の歌の技術を上げることが大切なことで、頑張っている姿を見せれば子どもは育つと思っていた。

あんなに都会に、夢にしがみついていた自分だったのに、今は山暮らし。小さいながら、畑もやり、田んぼの作業にも時々参加している。子ども達はびっくりするくらい、のびのびしている。私も以前より人とのつながりを大切にして、等身大の自分でいられることが心地いい。

ここへ辿り着いて心からよかったと思っている。まだ、自然と共に生活し始めたばかりだけど、日々感じること、興味の湧くことは増えている。自然の恵みに感謝しながら。



子ども達と一緒に畑作業



龍神さんで水汲み

そして、今までの自分がとても無関心な人だったことに気付いた。今は、少しでもよい世界になるように、自分にできることを少しずついいからやって行こうと思っている。

もっぱら、私の日課は近所の龍神さんに水を汲みに来る初対面の人達に、震災、原発の話をする事。私の車のナンバーを見て(震災前のまま)、自然にその話題になる。一言話しかければ、たくさん言葉が出て来ることにはじめは驚いた。今は初対面の人とも、普通に政治の話ができることが嬉しい。

以前、技術のことばかり考えていた歌は、今はメッセージを伝えるためのツールとなっている。言葉だけでは伝わらない何かが、音楽が共にあることで伝わることに今は喜びを感じている。

震災からもう3年。まだ3年。希望を持ち続けて、少しずつ少しずつ、前へ進もうと思う。

(豊田市在住 竹内支保子)

次回のリレートークは松山要さんです。

## ホールボディカウンター検査体験談

福島第一原発事故当時に福島県内に居住し、その後、県外に避難された方を対象に内部ひばく検査が5月15日から20日まで愛知県東大手庁舎にて実施されました。実際に検査を受けた方の声をお伝えします。

私は当時福島県郡山市に居住していたので娘と2名分を電話で予約し、検査を受けました。最初に庁舎の中の別室で受付をして検査について簡単な説明を受けます。そして、紙のガウンのようなものに着替え、体の表面にどの位放射性物質が付着しているかを調べました。その後、外の駐車場に停めてあるホールボディカウンター搭載車に移動し、立位型WBC（立って検査をうけるタイプ）に入りレントゲンを撮るよう

な感じで2分間動かないようにします。あっと言う間でしたが初めての検査は緊張しました。

今回はセシウム134の限界値が150ベクレル、セシウム137の限界値が180ベクレルでした。検査結果が6月上旬に届き、セシウムは検出されずということでした。今までは福島県まで行かないと検査が受けられず、なかなか受検できる機会がなかったのですが、やっと名古屋市で検査を受けることができ良かったです。

(天白区 M.M)

ホールボディカウンター搭載車は全国を周っており、東海地方では9月下旬に三重県で行われる予定です。詳しくは福島県県民健康調査課のホームページ <<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21045b/>>からご覧いただけます。



## スタッフ紹介 ～センター長 南里幸～

支援センターのスタッフがどのような経緯や思いでセンターの仕事をするようになったかを紹介していきます。第2回は4人いるセンター長の1人で、特定非営利活動法人愛知ネット事務局長の南里幸(なんりみゆき)です。

珍しい名字とよく言われますが、生まれも育ちも九州の福岡県です。愛知歴7年目になり、防災・災害救援活動に関わるうちに、博多弁だけでなく三河弁(愛知県三河地域)も話すようになりました。東日本大震災発生以降は、1か月のうち「3週間は岩手、1週間は愛知」で暮らす中で、気仙弁(岩手県気仙地域)を少しずつ身につけてきました。

お茶っこの機会等で、お話していて感じるのは、皆さんお一人お一人の中にある底力です。これまでお一人お一人と愛知の力とを結ぶ活動を微力ながら重ねて参りました。これから愛知県被災者支援センターでは、皆さんのお宅を訪問させて頂きたいと考えています。皆さんのお話をお伺いできればと思います。



## みんなの情報交換板

### 名古屋弁、わかりますか？

皆さんは名古屋弁をどのくらい聞き取れますか？

名古屋には主な観光地や繁華街を中心に名古屋弁をしゃべる自動販売機が設置されています。2010年に名古屋開府400年を記念して設置されたもので、側面には「話そみゃー！名古屋ことば」の大きな文字、そして、名古屋市公式マスコットキャラクターのはち丸、かなえっち、エビザベス、だなもが描かれていて、かわいらしいデザインです。飲み物を購入すると、ご当地タレントの矢野きよ実さんが様々な名古屋ことばを紹介してくれます。



私の場合、昨年聞いた時は全然聞き取れなかったんですが、今回チャレンジしてみると、いつの間にか耳が慣れてきたようで、今回は大分聞き取れました。私が聞いたところでは、「名古屋では自転車は『ケッタマシン』と言うんだでね。」（注1）「名古屋には味噌かつ、ひつまぶし、手羽先、うみゃー名物ようけあるでよ。」（注2）とっていたようでした。甲高く独特のイントネーションなので、雑踏の中ではちょっと聞き取りづらいかもかもしれません。他にも、「おつかれさま！今日もえらいけどがんばっていかないかんに。」（注3）「あんた、いつも大変だでね。ゆっくりやすみゃーよ。」等々、全部で12種類のバージョンがあるようです。

それにしても、自転車が「ケッタマシン」なんて、「蹴ったくる（蹴る）」と機械の「マシン」の組合せらしいですが、和製英語ならぬ名古屋製英語？でなぜか画期的な感じさえしませんか？！

皆さんも聞き取れない言葉があったら、それは名古屋弁かもしれません。そんな方言にまつわるエピソードも募集しています。

次号は名古屋弁と東北弁の会話をお届けする予定です。お楽しみに。

（神奈川県出身・編集委員 上田有美）

※（注1）「ケッタマシン」…「ケッタ」だけでも「自転車」の意味です。

（注2）「ようけ」…「たくさん、いっぱい」

（注3）「えらい」…この文脈では「疲れた、しんどい」の意味で使われていますが、他に「すごく、とても」の意味でも使われます。

#### ◆ みんなの情報交換板への参加方法 ◆

◎ メールまたはFAXにて情報を送ってください

E-mail : aozora@aichi-shien.net

F A X : 052-954-6993

◎氏名・現住所・電話番号を明記してください

（実名・匿名・ペンネームなど、掲載の表記希望をお知らせください）

皆さんからのおすすめ情報、疑問・質問などをお待ちしております。





新鮮&安心な食材と出会いたい!

# あいちの産直施設 お出かけガイド

第2回  
新城・設楽の巻



編集:あおぞら編集部

故郷と気候の異なる愛知県で生活されるにあたり、新鮮・安心・おいしい食材に出会える一助になれば・・・と始まった「愛知県内の産地直売施設」紹介シリーズの第2弾。今回は中山間地の新城・設楽地域の施設をご紹介します。名古屋・尾張地域にお住まいの方からは距離がありますが、山間地の涼を求めに、またお子さん連れの夏休みのレジャーを兼ねて、よろしかったらお訪ねください。

この地域は、山間地の自然を活かしたふれあい体験施設が充実! キャンプや川遊びができる「つぐ高原グリーンパーク(設楽町)」や、星空が楽しめる「スターフォレスト御園(東栄町)」も人気です。



**ピックアップ**

⑥ つくで手作り村・山家市

4~9月 10:00~18:00/木曜定休 TEL 0536-37-2772

「愛知県の軽井沢」と言われるほど夏も涼しい手作り村。ここで獲れた朝取り野菜や、隣接する『勇氣工房』で加工製造した、無添加の味噌・お惣菜・お菓子が所狭しと並んでいます。トマトや甘いトウモロコシは、まさに獲れたて!

バーベキュー・流しそうめん・とうもろこしもぎ取り体験など(要予約)のイベントも楽しめる施設です。

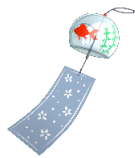


**新城・設楽の産地直売施設** ※営業時間は変更になる場合がありますので、電話確認されると安心です。

No	施設の名称	所在地住所	休業日	営業時間	電話
①	JA愛知東グリーンセンター しんしろ	新城市豊栄221-1	水曜	9:00~18:00	0536-23-7560
②	JA愛知東Aコープ新城店	新城市平井字中田6-1	第1水曜	9:30~20:00	0536-22-4148
③	JA愛知東Aコープ八名店	新城市黒田字萩平野37-2	月曜	9:30~19:00	0536-26-1155
④	JA愛知東こんたく長篠	新城市長篠字西野々30	水曜	9:00~18:00	0536-32-0002
⑤	勇氣野菜館(JA愛知東Aコープ 作手店隣接)	新城市作手高里字縄手下25-1	水曜	9:00~17:00	0536-37-2210
⑥	つくで手作り村	新城市作手清岳字ナガラミ10-2	木曜(祝祭日の場合 合翌日)年末年始	4~9月 10:00~18:00 10~3月10:00~17:00	0536-37-2772
⑦	の~まんばさ~る荷互奈	新城市只持字大筋39-6	火曜、年末年始	4月~10月 8:00~17:00 11月~3月 8:00~16:30	0536-32-0112
⑧	Aコープ作手店	新城市作手高里字縄手下25-1	水曜	9:30~19:00 (日・祝~18:30)	0536-37-2124
⑨	田峯特産物直売所	設楽町田峯字鍛冶沢	年中無休	8:00~17:00	0536-64-5516
⑩	「道の駅」アグリステーションなぐら	設楽町西納庫字森田32	月曜、年末年始	3月~11月 8:00~17:00 12月~2月 8:00~16:30	0536-65-0888
⑪	山百合荘 豊邦直売所	設楽町豊邦字ムカヒ	水、木曜	10:00~15:00	0536-64-5688
⑫	瀬戸川いきいき百姓団小さな道の駅 農産物直売施設	津具字上家裏10番地ほか	年中無休(冬期ハウ ス栽培野菜のみ)	7:00~17:00	0536-83-2048
⑬	振草農産物直売所	東栄町大字中設楽字桜平34	月曜	8:00~16:00	0536-78-5108
⑭	JA愛知東農産物直売所	東栄町大字三輪字中奈根82	水曜	8:00~17:00	0536-79-3343
⑮	農山生産物奈根直売組合	東栄町大字三輪字中奈根82	月~木	8:30~17:00	0536-79-3033
⑯	湯~らんどバルとよね	豊根村上黒川字長野田20	木曜	10:00~21:00	0536-85-1180
⑰	グリーンポート宮嶋	豊根村坂宇場字宮ノ嶋29-3	水曜	9:00~17:00	0536-85-2009

●愛知県で把握している新城・設楽の産地直売所は 25 施設ですが、営業期間が長いものを上記で紹介しました。愛知県農林政策課 (TEL 052-954-6395) が制作しているインターネットサイト「あいちの農林水産 産地直売所・ふれあい体験施設」をご覧ください。全施設がご覧になれます。

URL <http://www.pref.aichi.jp/0000003150.html> 県内約 300 もの産直施設の情報あり。



# 旬のお出かけ情報

～ 図書館で読書や夏休みの宿題 ～



暑い日がまだまだ続く 8 月、気分転換に涼しくて静かな図書館で読書はいかがですか。学生さんは夏休みの宿題や読書感想文の本探しにも利用できます。県内に 100 近くある公立図書館の中から、最近増えてきている併設型の図書館をいくつかピックアップしてご紹介します。ホールやギャラリーなど文化施設が同じ建物内にあり、本を読む以外にも楽しめる施設です。

図書館名（施設名）	住所・電話番号	休館日・開館時間	特徴
一宮市立中央図書館 (i - ビル)	一宮市栄 3-1-2 0586-72-2343	第 1・3 月（除祝休日）、祝休 日の翌日（除土日祝休日） 9:00-21:00	尾張一宮駅に隣接。子育て・ビ ジネス・市民活動の各支援セ ンターが揃う。
春日井市図書館 (文化フォーラム春日 井)	春日井市鳥居松町 5-44 0568-85-6800	月（除祝日） 9:00-20:00	全国から寄贈された自分史を 開架。文化芸術のイベントチ ラシの配架コーナーもある。
名古屋市東図書館 (カルポート東)	東区大幸南 1-1-10 052-712-3901	月（除祝日）、第 3 金（除祝 日、整理休館月） 9:30-19:00(日祝-17:00)	ナゴヤドームの隣にあり、ス ポーツセンターや小劇場、市 民ギャラリーを併設。
日進市立図書館	日進市蟹甲町中島 3 0561-73-4123	月、第 1 木 9:30-20:00(土日祝-17:00)	小さい子が利用しやすい工夫 が随所にされている。
おおぶ文化交流の杜 図書館(おおぶ文化交 流の杜 allobu)	大府市柘山町 6-150-1 0562-48-1808	毎月第 3 月（祝日の場合は 翌日） 9:00-20:00	ホールやスタジオなどを併 設。7 月 1 日に開館したばかり の新しい施設。
岡崎市立中央図書館 (岡崎市図書館交流プ ラザ Libra)	岡崎市康生通西 4-71 0564-23-3111	水（祝日の場合は開館） 9:00-21:00	ジャズコレクション展示室や 歴史資料展示室、子ども図書 室などがある。

※ 各施設の休館日や開館時間は臨時に変更されることがあります。

特に年末年始やゴールデンウィークなどの休館日、特別整理期間は各施設にお問い合わせください。

## 私のおすすめ ～日進市立図書館～



図書館を見ると、その町の雰囲気や教育の成熟度が感じ取れる  
ではないでしょうか。誰もが気兼ねなく入れる公共スペースとい  
う共通認識以上の魅力がこの図書館にはあります。

子ども向けにとっても広くスペースを割いていて、ゆったりと本  
を読む場所が確保されています。大人向けにもたくさんの閲覧機  
があり、どの場所でも座って読書ができます。特におすすめしたいのは併設のカフェコーナー「ゆっ  
たり工房」で食べられるカレーラーメンがお値打ちでとても美味しいですよ。無料駐車場が 100 台  
あるのも嬉しいです。

(編集委員 鈴木ユカリ)

● 詳細や県内他の図書館の情報は「愛知県内 公立図書館一覧」をご覧ください。

<<https://websv.aichi-pref-library.jp/list/liblist.html>>



## 支援センターからのお知らせ

### <ご自宅への訪問について>



前号でもお伝えしましたが、名古屋市外にお住いの方を対象に7月下旬から10月にかけて愛知県被災者支援センターのスタッフや保健師さん、市町村の職員などが、皆さまのご自宅を訪問させていただきます。

(名古屋市にお住いの方はすでに市の保健師さんが訪問しております。)

皆さまの健康や、生活のことなどについて、お話しいただける機会となればと思っております。ご自宅に伺う前に、センターのスタッフや市町村職員、保健師よりお電話させていただく場合もありますので、その際にご都合の良い日をお伝えいただきますようお願い致します。

また、事前のアンケートにご理解ご協力いただき、ありがとうございました。ご回答いただいた皆さまには、個別訪問時にアンケート記載内容についてお伺いすることがございますが、その際にはご協力お願い致します。

### <表紙の絵を募集しています>

秋から冬にかけての絵を募集しています。(例えば、運動会、食欲の秋、紅葉など)

絵の上手さは問いません。絵を送る際に、以下の5点について明記のうえメールまたはFAXにて送ってください。

- ① 絵のタイトル
- ② 絵の説明(30字程度)
- ③ お名前(実名・匿名・ペンネームなど)
- ④ 学年または年齢
- ⑤ 保護者の方の連絡先(氏名・メールアドレスまたは電話番号)

### <編集後記>

●もうすぐ夏本番。龍神の水をいただきながら、今年の夏も子どもたちと自然体験しようと思います。(竹内支保子)

●震災翌月から夫の仙台転勤に伴い、宮城で支援活動し、昨年転勤で名古屋に来ました。今回初参加です。(上田有美)

●探してる本がなんとなくの記憶で探せる「覚え間違いタイトル集」サービスのある福井県立図書館が話題だそうですよ。(鈴木ユカリ)

●名古屋弁を調べているとDr.スランプアラレちゃんとSPECを思い出しました。(六鹿直樹)

表紙の絵、情報掲示板、ご意見・感想など、あおぞらに関する  
くすべての宛先はこちら>

〒460-0001

名古屋市中区三の丸3-2-1

愛知県東大手庁舎1階

愛知県被災者支援センター

FAX : 052-954-6993

E-mail : aozora@aichi-shien.net

皆さまからのご意見・感想を  
お待ちしております!

